

受 検 番 号	氏 名

平成 25 年度

かながわ
神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

適性検査Ⅱ

(45分)

——— 注 意 ———

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は **問3** まであり、1ページから6ページに印刷されています。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて **解答用紙** の決められた欄^{らん}に書きましょう。解答欄^{らん}の外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答を線で囲む問題は、次の〔例〕のように、線で囲みましょう。

〔例〕

りんご

- 5 字数の指定のある問題は、指定された字数や条件を守り、わかりやすく、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始め、文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数え、1マスに1字ずつ書きます。

〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は	
,		「	冬	の	朝	」	だ	っ	た	。

- 6 「やめ」の合図があつたら、途中^{とちゅう}でも書くのをやめ、筆記用具^{つぐえ}を机の上に置きましょう。

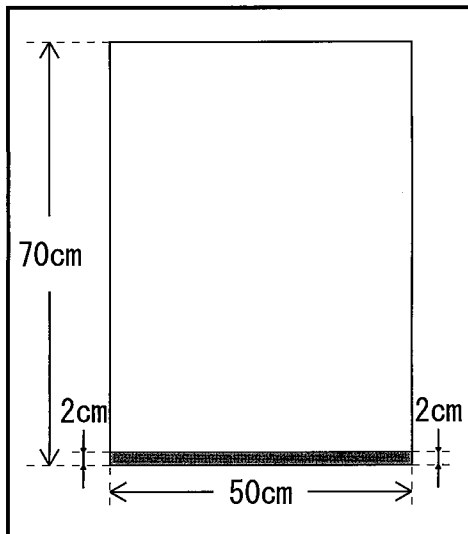
問1

あきおさんたちは、地域の工作教室に参加し、ビニル袋を材料にしてたこを作りました。次の(1)～(3)の各問いに答えましょう。

(1) [図1] は、あきおさんが用意したビニル袋の大きさを示した図です。[図1] の  で示した縦2cm、横50cmの部分は、袋状になるようにビニルがはり合わせてある部分です。[資料] は、工作教室で配られた、たこの作り方について書かれた紙の一部分です。ビニル袋は、[図1] の  の部分を切り取ると筒のような形になるので、その側面の1か所を切り開いて長方形にします。

あきおさんは、切り開いた長方形のビニルを使って、たこの面積が最も広くなるように、[資料] の中のもとになる正方形の1辺の長さを、単位をcmとして整数で決め、六角形のたこの形をかきました。このとき、あきおさんが決めたもとになる正方形の1辺の長さは何cmか、また、この六角形の面積は何 cm^2 になるか、それぞれ書きましょう。

[図1]

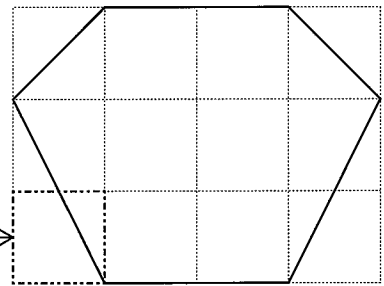


[資料]

右下のように、たこの形は六角形にします。この六角形は、同じ大きさのもとになる正方形を縦に3個、横に4個しきつめてできる長方形を利用してかくことができます。

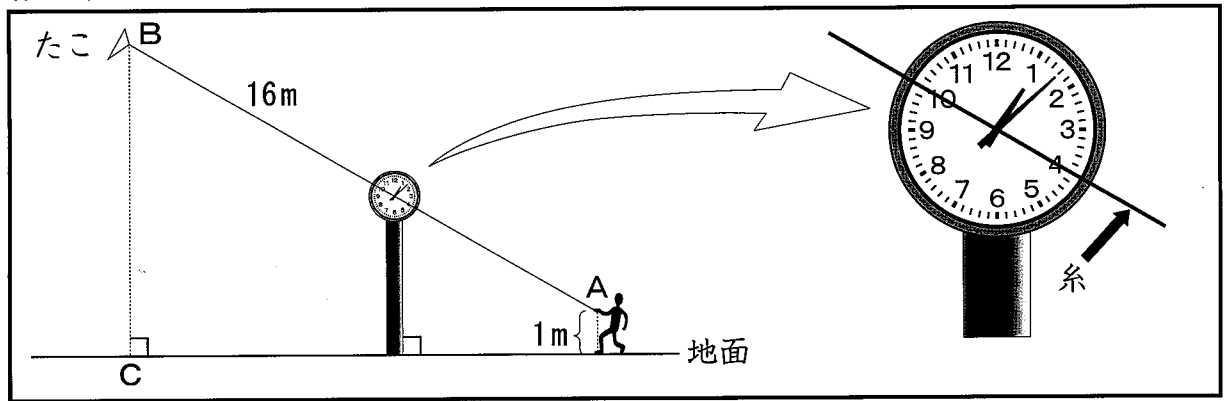
はじめに、各自で用意したビニル袋の大きさに合わせて、もとになる正方形の1辺の長さを決めましょう。

もとになる正方形 →



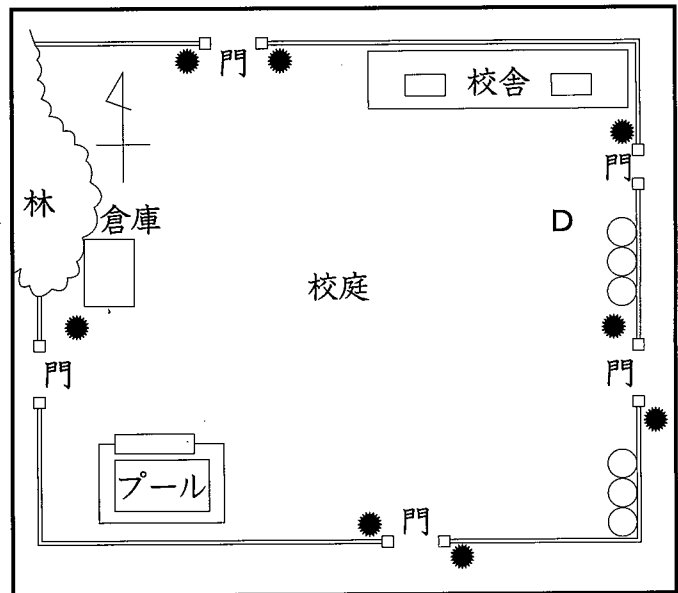
(2) あきおさんは、[図2] のように、できあがったたこを時計のある公園であげました。この様子をすべり台の上から見ていたはるこさんの正面には、時計の文字盤がありました。このとき、はるこさんは、[図2] のように、時計の文字盤の4と10の目もりに、糸がぴったり重なって見えることに気づきました。[図2] の中で、あきおさんが糸を持っているところをA、たこと糸との結び目をB、Bの真下の地面をCとすると、ABの長さは16mで、地面からAまでの高さは1mでした。このとき、たこのあがっている高さをBCとすると、BCは何mか、書きましょう。ただし、地面は水平で、時計は地面に対して垂直にたっています。また、ABの間の糸には、たるみがなく、糸と時計の文字盤は平行になっているものとします。

〔図2〕



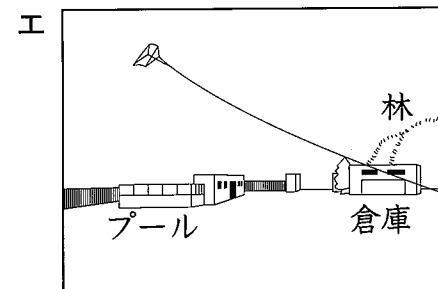
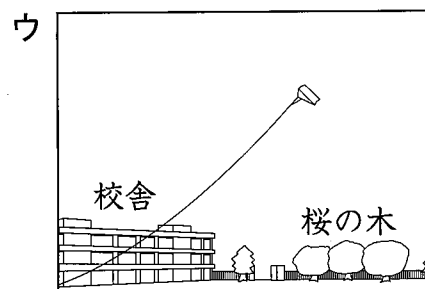
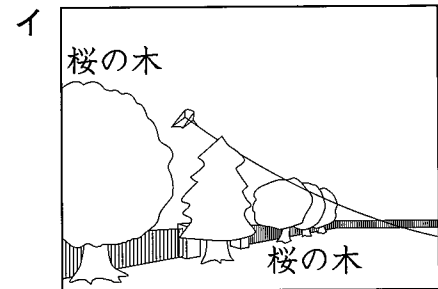
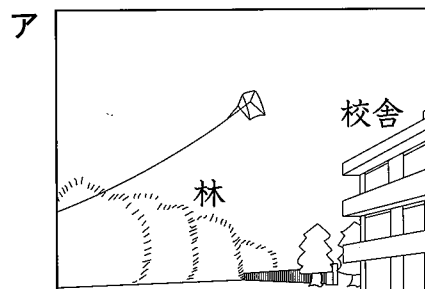
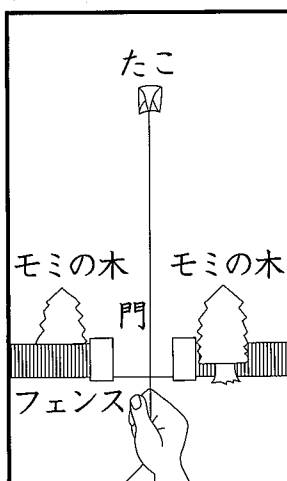
(3) 〔図3〕は、はるこさんの学校の
絵地図です。はるこさんが校庭で
あげているたこの様子を、なつお
さんは〔図3〕のDの位置からス
ケッチしました。〔図4〕は、なつ
おさんがスケッチしている間、は
るこさんから見えていたたこの様
子です。このとき、なつおさんが
かいたスケッチとして、最もあて
はまるものをあとのア～エの中か
ら1つ選び、その記号を書きまし
ょう。また、このとき吹いていた
風として、最もあてはまるものを
東風、西風、南風、北風の中から
1つ選び、線で囲みましょう。

〔図3〕



※図中の●はモミの木、○は桜の木、——はフェンス
を表しています。

〔図4〕



問2

6年生のひろしさんたちは、新入生をむかえるための準備をしています。次の(1)～(3)の各問いに答えましょう。

(1) 準備室には、〔図1〕のように教科書の入った箱が3段に積み上げられています。箱の側面には使用する学級と教科書の種類が書かれています。学級は、1年、2年ともに1組から3組まであり、合わせて6学級あります。教科書の種類は、1年は5種類、2年は4種類あります。ひろしさんたちは、〔図1〕の箱を移動し、移動した順に学級ごとに積み上げ、〔図2〕のように整理しました。移動の方法は、次のとおりです。

- ① 箱は、1箱ずつ移動する。まず、〔図1〕の最上段のすべての箱を移動し、次に2段目のすべての箱、最後に3段目のすべての箱を移動する。
- ② 各段の9箱は、1年1組、1年2組、1年3組、2年1組、2年2組、2年3組の順に移動する。同じ段に同じ学級の箱がある場合は、国語、算数、生活、図工、音楽の順に移動し、同じ学級の箱をすべて移動してから、次の学級の箱を移動する。ただし、移動する順番の箱がない場合は、その次の順番の箱を移動する。また、2年には音楽の教科書はない。

〔図1〕、〔図2〕を見て、あとのア、イの各問いに答えましょう。

〔図1〕

1-1 算数	1-2 国語	2-1 国語	2-1 国語	2-2 図工	1-3 音楽
1-3 生活	1-2 算数	2-1 算数	2-1 算数	1-1 国語	2-3 生活
2-1 図工	2-2 生活	1-2 音楽	1-2 算数	2-2 算数	1-1 音楽

※〔図1〕、〔図2〕の数字は学級を表しています。例えば、「1-3」は「1年3組」を表しています。

〔図2〕

1-1 音楽	1-2 音楽	1-3 国語	1-3 国語			
1-1 生活	1-2 図工	1-3 生活	2-1 図工	2-2 生活	2-3 図工	2-3 図工
1-1 図工	1-2 算数	1-3 音楽	2-1 生活	2-2 算数	2-3 算数	2-3 算数
1-1 国語	1-2 生活	1-3 図工	2-1 算数	2-2 国語	2-3 生活	2-3 生活
1-1 算数	1-2 国語	1-3 算数	2-1 国語	2-2 図工	2-3 国語	2-3 国語

ア 〔図2〕の積み上げられた箱のうち、「2-1 国語」の箱を移動したのは、最初に移動した箱から数えて何番目か、書きましょう。

イ 〔図1〕の上から2段目にある箱のうち、示されていない箱の学級と教科書の種類は何か、あてはまるものを解答欄の中からすべて選び、それぞれ線で囲みましょう。

(2) けんたさんたち13人は、教科書やノートなどを1年の教室に運ぶことになりました。準備室には、運ぶ物が学級ごとに分けて置いてあります。また、準備室の黒板には、〔資料〕のように、(各学級の児童数)、(運ぶ物)、(運び方)が書いてありました。〔資料〕の中の(運び方)にしたがって、すべての物を最も少ない回数で、1年の各教室に運び終えるためには、1人平均何回運べばよいか、回数を書きましょう。

〔資料〕

〔各学級の児童数〕 1年1組 30人, 1年2組 31人, 1年3組 30人

〔運ぶ物〕

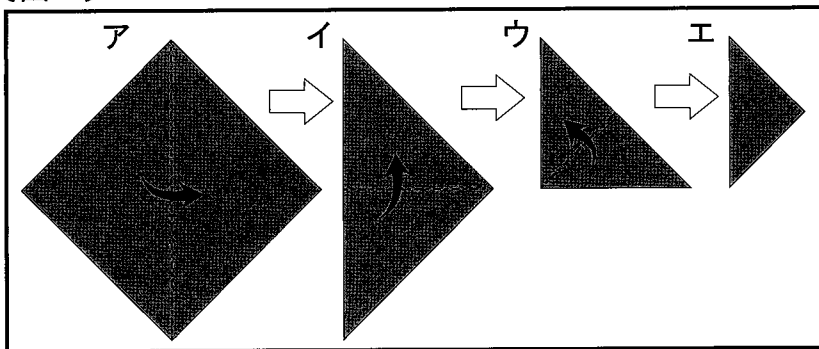
- | | |
|---------------------------|---------|
| ① 教科書（5種類）：国語，算数，生活，図工，音楽 | 各児童数分 |
| ② ノート（4種類）：国語，算数，生活，連らく帳 | 各児童数分 |
| ③ アサガオを育てる植木ばちが入っている箱 | 各学級3箱ずつ |

〔運び方〕

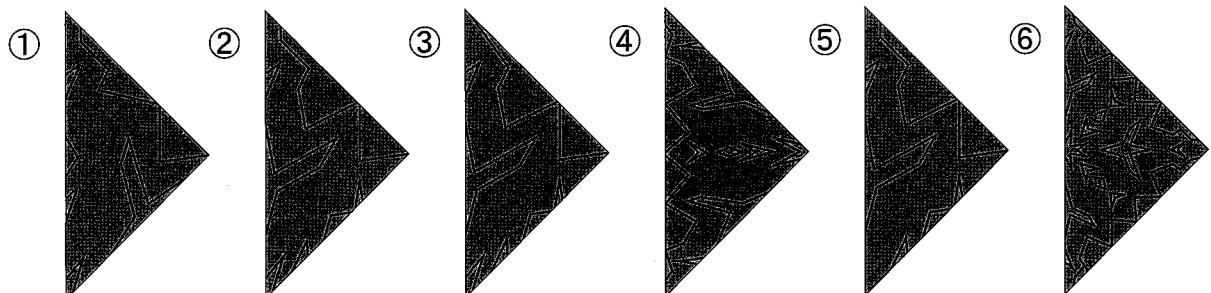
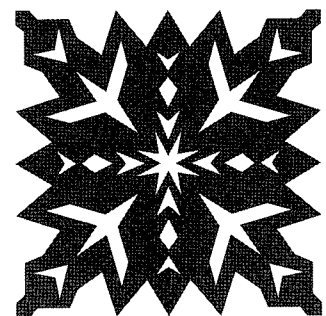
- ・ 運ぶ物は，学級ごとに運び，他の学級の物といっしょに運んではいけません。
- ・ ①～③は，別々に運びます。
- ・ ①の教科書は，種類ごとに運びます。1回に運ぶことのできる教科書は，国語，算数の教科書は1人15冊^{さつ}まで，その他の教科書は1人20冊までです。
- ・ ②のノートは，種類がちがっていても，いっしょに運んでかまいません。1回に運ぶことのできるノートは，1人25冊までです。
- ・ ③の箱は，1箱を2人で運びます。

〔3〕まりこさんは，正方形の折り紙を使って，1年の教室のかざりを作りました。まず，〔図3〕のように，1枚の折り紙をア～ウの順に線（-----）にそって3回折り，エのような三角形を作りました。次に，エの三角形に線（——）をかき入れ，かき入れた線にそって切り，折り紙を開くと，〔図4〕のような形のかざりができました。〔図4〕のような形にするためには，〔図3〕のエの三角形にどのように線をかき入れたらよいか，最もあてはまるものをあとの①～⑥の中から1つ選び，その番号を書きましょう。

〔図3〕



〔図4〕



問3

〔資料1〕は、世界遺産の一つとして知られている白神山地^{しらかみ}で、クマ狩り^がなど
をしながら自然とともに生きてきたマタギ^{しゅりやう}といった人々の狩猟^{しゅりやう}や山菜採り^{ちえ}の知恵
について、青森県西目屋村^{あおもりにしめや}の白神マタギ舎^{くどう}の工藤^{まい}さんの話をもとに書かれた文章
です。〔資料2〕の㊶～㊸の4枚のカードは、ともこさんが〔資料1〕をもとに
食料と消費について考えたことを発表する内容をまとめたものです。〔資料1〕、
〔資料2〕を読んで、あとの(1)～(3)の各問いに答えましょう。

〔資料1〕

(著作権上の都合により省略)

〔食卓から地球環境がみえる 第2章 日本列島に住む人々は何を食べてきたか〕
湯本貴和・米田稜著より ※一部表記を改めたところがある。

注1) 概して：だいたいにおいて。 注2) 山菜採りの極意：山菜を採るときに大切にしていることがら。

注3) 根茎：地下または地表をほうようにのびる茎。 注4) 満喫：心ゆくまで十分に楽しむこと。

注5) 地産地消：ある地域で収穫した農産物や水産物をその地域内で消費すること。

〔資料2〕

㊐

マタギの人々の伝統的な生活のように、身近な自然から食料を採集し、消費する生活では、食料の採集が自然へ与える影響についてわかりやすいので、自然のしくみをじょうずに利用し、適切に管理することができます。

㊑

遠くはなれた産地でも自然が適切に管理され、これからも食料が自然のめぐみとして安定して得られるように、生産者だけではなく、わたしたち消費者も考え、行動していかなければならないと思います。

㊒

都市部に住むわたしたちは、遠くはなれた産地から輸送されてきた多くの食料を利用しています。このため、食料の採集や生産が自然へ与える影響について、わたしたちにはわかりにくくなっています。

㊓

現在、わたしたちの豊かな食生活を支えるために、産地の自然に大きな負担がかかっているのではないのでしょうか。産地の自然を守るために、わたしたち消費者にできることは何でしょうか。

(1) 〔資料1〕の(A), (B)について、次のア、イの各問いに答えましょう。

ア (A) に最もあてはまるように、〔資料2〕の㊐～㊓のカードの中から6字の語句を見つけて書きましょう。

イ (B) に最もあてはまるように、〔資料1〕の文章の中から28字の部分を見つけて、その部分の最初の5字をぬき出して書きましょう。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数えます。

(2) 〔資料2〕の㊐～㊓のカードを、①「問題の提示」、②「〔資料1〕からわかったこと」、③「〔資料1〕のほかにもこさんがさらに調べて考えたこと」、④「消費者としての意見」の順番になるように並べかえ、①～④のそれぞれにあてはまるものを㊐～㊓の記号で書きましょう。また、②と③をつなぐ言葉および③と④をつなぐ言葉として、最もあてはまるものを次の□の中から1つずつ選び、それぞれ線で囲みましょう。

したがって しかも なぜなら 一方

(3) 〔資料1〕の文章からマタギの人々が自然と共存していくために気をつけていることを書き、そのことをふまえて、〔資料2〕の㊑のカードの下線部に関して、消費者の一人として食料の消費について、あなたは具体的にどのように行動していこうと思うか、全体で100字以上150字以内で書きましょう。

※問題は、これで終わりです。